

指導者養成講座【培養液編】

2019年10月7日(月)～10月8日(火) 2日間

千葉大学では、昨年度から植物工場に関するコンサルタント育成を目的として、指導者養成講座「環境制御編」・「培養液編」・「病害虫対策編」の3つの講座を企画しました。本年度は、昨年度の実施内容を総括し、さらに深化させた内容で実施いたします。奮ってご参加ください。

◆ 講座の狙い

培養液の分析結果を診断し、独自の培養液制御を工夫し、初歩的なコンサルができる人材を育成する二日間の充実したプログラムを実施します。研修の最終日には、受講生の皆様とコンサルについて考えるための情報を共有し、ディスカッションを通じて今後の方向性を探りたいと考えています。

◆ 募集要項



<太陽光型植物工場>

- 【受講対象】 1. 植物工場事業に興味を持ち、真剣に事業参入を考えている生産者、個人、企業の方。さらに、現在植物工場栽培に従事している技術者で、コンサルタントを目指している方。
2. 2013年度以降に千葉大学・NPOで開催された培養液管理研修を受講し、修了証を受け取った方を対象としますが、未修了で受講を希望される方はご相談ください。

【受講場所】 千葉大学環境健康フィールド科学センター 植物工場研修棟A棟1階 研修室

【受講費用】 一般 40,000円/人 植物工場研究会会員 32,000円/人 (消費税、教材費等込)

【募集人数】 20名程度

【講座責任者】篠原 温(千葉大学 名誉教授)・塚越 覚 (千葉大学 准教授)

【申込方法】 植物工場研究会ホームページの申込専用フォームからお申込みください。

*ご登録のメールアドレスに、「申込受付完了」メールが自動送信されます。

メールが届かない場合は問合せ先へご連絡ください。

【受講確定】 申込先着順に「内定通知」のご連絡をさせていただきます。受講料は「内定通知」に記載の手順で振込期限内にお振込みください。お振込み確認後に受講確定となり「受講確定」のご連絡をさせていただきます。

なお、一度納入された受講料は返還できませんので予めご了承ください。

【募集期間】 2019年8月27日(火)～10月3日(木) *申込状況により募集期間中に締切ることがございます。

*開催14日前に催行についての検討をさせて頂く場合がございますので、受講を希望される方はお早目のお申込をお願い致します。

【持ち物】 ノートパソコン(Excelを使用します)



←研修No11
QRコードは
こちら

◆ 開講期間

2019年10月7日(月)～10月8日(火) 2日間 初日9:45受付開始

10/7	月	8:50～10:20	10:30～12:00	昼休	13:00～15:40	15:50～17:50
		受付: 9:45～ 開講式: 10:15	培養液の設計の 復習と演習		濃度管理と施肥速度管理	培養液管理の実際
10/8	火	8:50～10:20	10:30～12:00	昼休	13:00～16:10	～16:30
		養分の欠乏と過剰	培養液分析データの 診断と指導		宿題についてディスカッションおよび全体の質疑応答	



<人工光型植物工場>

※開催前に宿題「解決すべき課題レポート」のテーマを連絡致しますので対応頂きます。

※講義の課題や日程、講師等の詳細スケジュールは今後多少変更の可能性がございます。詳細は講義初日に配布いたします。

◆ お問い合わせ

特定非営利活動法人植物工場研究会 (担当: 戸井)

〒277-0882 千葉県柏市柏の葉6-2-1 千葉大学 環境健康フィールド科学センター

E-mail : plant-factory@office.chiba-u.jp

Tel&Fax: 04-7137-8312

2019年度植物工場

研修No11

指導者養成講座【培養液編】（10月7日～10月8日）

～培養液管理のポイントを理解し、制御や改善について社内・社外でコンサルができる人材を育成する～

		I (8:50～10:20)	II (10:30～12:00)	昼休	III (13:00～15:40)	V(15:50～17:50)	18:10～
10/7	月		培養液の設計の復習と演習		濃度管理と施肥速度管理	培養液管理の実際	懇親会
		受付:9:45～ 開講式:10:15～ 挨拶 受講案内	養水分吸収特性の把握 原水中の重炭酸の調整 調整済み原水中のイオンを考慮した培養液の設計		濃度管理とは 施肥速度管理とは 施肥速度管理用の施肥量を計算してみよう 培養液処方 of 細かな調整法(何を無視して何を重視するのか、それはなぜか)	N施肥の量的管理による長段密植栽培 (伊ワタニアグリグリーン:玉城鉄) 極少量培地耕における培養液管理の ポイント(静岡大学名誉教授,アグリビジネス研究所:糠谷明)	
			千葉大学 塚越覚		千葉大学 塚越覚	玉城 鉄 ・ 糠谷 明	
		I (8:50～10:20)	II (10:30～12:00)	昼休	III (13:00～16:10)		
10/8	火	養分の欠乏と過剰	培養液分析データの診断と指導		宿題についてディスカッションおよび全体の質疑応答	修了式	
		必須元素の欠乏と過剰 特にCa欠乏について, その原因と対策 (拮抗作用, スターター培養液と追肥培養液など)	実際のデータと診断 一回限りの分析データで分かること 実際にどんな指導をするのか 濃度管理での指導 吸収速度管理での指導 どのデータを どのように使うのか		あらかじめ受講生にいくつかの課題を提示し、簡単なレポートにまとめていただき、研修初日に提出していただきます この時間に何人かの代表者に発表してもらい、受講生と講師陣が課題別にディスカッションし、コンサルの方法を追求します また、残りの時間は質疑応答とします	挨拶 修了証授与 今後の予定など ～16:30(予定)	
		千葉大学 丸尾達	千葉大学名誉教授 篠原温		篠原温 ・ 丸尾達 ・ 塚越覚		

※講義の課題や日程、講師等の詳細スケジュールは今後多少変更の可能性があります。詳細は講義初日に配布いたします